

科目	ゼミナールⅢ(H)	担当	鈴木 愛一郎	履修学年	4年
時間数	90分×時限×16回(週1回)	履修区分	必修	単位数	2単位

**【授業目標・到達目標】**

卒論の指導が中心的な内容となる。卒論は会計ファイナンス分野のものに限る。卒業後の進路、さらに社会に出てから活かせるような知識・スキルを卒論作成を通じて得られることも目標としたい。ゼミナールであることのメリットを活かす意味で必要に応じて資格取得や就職活動についてのアドバイスなども行う。

**【履修注意】**

あらゆる場面、状況で形式より内容を重視する。

**【評価方法】**

研究に対する自主性を特に重視する。出席(40%)、発表(30%)、発言・コメント(30%)  
無断欠席は6回で不合格。20分以上の遅刻は欠席扱い。20分までの遅刻を2回することで欠席1回とカウントする。

**【試験について】**

筆記試験は実施しない。

**【予習・復習】**

随時、受講者ごとに課題を課す。

**【教科書】**

購入教科書はなし。

**【参考書】**

参考書の指定はなし。

**【その他の注意事項】**

**【授業計画・内容】**

回数	項目	内容
1	オリエンテーション	卒業論文作成の流れ、スケジュールのたて方、心構え
2	卒論指導	卒論の目的、情報あつめ、テーマの設定
3	卒論指導	調査の方法、既存研究について、先行論文の探し方
4	卒論指導	情報の整理、分類、保存
5	卒論指導	情報分析、問題意識、問題提起
6	卒論指導	副産物の処理、テーマの絞り込み、統合化
7	卒論指導	考察対象の再検討、観察、検証
8	まとめ	1-7回に基づく論文構成、構造計画、スケジュール計画
9	卒論作成と指導	研究主題、内容整理、課題の把握
10	卒論作成と指導	文章化の概要、章立て、注の付け方
11	卒論作成と指導	論理の構築、要旨の書き方、書式
12	卒論作成と指導	相互発表、表現方法、図式
13	卒論作成と指導	引用、目次、参考文献
14	卒論作成と指導	参考資料、添付資料、明解性
15	卒論作成と指導	自己批評、見直し、改善
16	卒論作成と指導	校正、客観性、批評